

平成30年度第5回花巻市行政評価委員会（人づくり・地域づくり部会）会議録

1 開催日時

平成30年10月19日（金） 午後1時30分～午後3時5分

2 開催場所

花巻市役所 3階302会議室

3 出席者

(1) 委員 6名

堀籠義裕委員（部会長）、青木明希委員、久保田廣美委員、福盛田弘委員、
佐藤洋子委員、曾我紀子委員

(2) 説明者（施策主管課及び関係課） 2名

地域づくり課：中村光一課長

定住推進課：藤井保宏課長

(3) 事務局（施策及び事務事業評価担当課） 2名

秘書政策課：高橋誠課長補佐

財政課：八重樫雅喜課長補佐

4 議題

市が実施した施策評価のうち、花巻市行政評価委員会の評価対象施策である「地域づくりへの参加促進」について評価を行った。

(1) 施策主管課による説明、質疑応答

(2) 委員会の評価結果集約

5 議事録

(1) 施策主管課による説明、質疑応答【主な意見・質疑等】

久保田廣美委員：振興センター利用人数の減少について、口頭説明では土沢振興センターの廃止に伴う影響があったとのことだが、「達成状況に関する背景・要因」にはその記載がない。意図的なものか？

中村光一地域づくり課長：前年度の評価に記載したので記載しなかった。意図的なものではなく、記載すべきだったと思う。

福盛田弘委員：関連してH26年から毎年、利用者が2万人ずつ減少している。要因で昨年度の2振興センターのイベントの開催時期と天候不良を理由としているが、天候が悪くても2万人も減になるわけではなく、他に理由があるのでは？

中村光一地域づくり課長：大きく減少した分を記載しており、大迫振興センター8,731人減、八日市6千人減である。他のセンターも減のところが多い。しかし、松

園、矢沢は増加している。事業のマンネリ化があると思う。

福盛田弘委員：矢沢は予約が取れないようであり、増えているセンターでは、増えている要因があると思う。各振興センターでは状況を把握しているか？

中村光一地域づくり課長：市として、コミュニティ会議に利用者を増やせとか、対策をしるというものではないと思う。各振興センターは状況を理解しており、生涯学習部と相談しているものと理解している。

福盛田弘委員：各振興センターで企画しているが、人が集まらない。努力していると思うが、魅力に欠けていると思う。

曾我紀子委員：花巻婚シェルジュの目的は何でしょうか？

藤井保宏定住推進課長：当初は少子化対策の1つとして、できたものである。50歳未満の夫婦の方が婚シェルジュになるよう研修をしている。結婚イコール子供をつくるではなく、人間としての豊かな生活を育むとかがある。

曾我紀子委員：少子化対策であれば、男性を含めた不妊治療を考えてはどうか？

藤井保宏定住推進課長：健康福祉部で行っている。

曾我紀子委員：他の部署だが、そこで（結婚して）お終いではなく、続けて行っては？

藤井保宏定住推進課長：子供が生まれるところまで考えれば、系列的に考えなければならぬと思います。配慮が足りなかったところがあったと思います。

佐藤洋子委員：婚シェルジュの研修内容をお聞きしたい。また、活動内容は？

藤井保宏定住推進課長：夫婦で婚活イベントに参加する等の活動を行っている。農協、おっせ会の婚活イベントに参加しコーナーを設けて相談をしている。

久保田廣美委員：「4施策を構成する事務事業一覧」の「地域おこし促進事業」の「事業内容」で、市として課題となる対象事業があったが、採用に至るまでに、できないことがあったから採用とならなかったのか？

藤井保宏定住推進課長：3人枠で考えていた。農政、商業、支所の課題があったが、3年後にどうやって就業していくか、地域で一緒に活動していくか等が見いだせなかったことが主な理由です。

久保田廣美委員：行政で活動テーマを型にはめるのではなく、「こういう課題があるが、あなたならどうする？」というような、やってみたいと思うような提案型があっても良いと思うが？

藤井保宏定住推進課長：例えば、商店街振興であなたは何をやりたいか、という形が当初はあった。しかし、やりたいテーマと地域とのすり合わせが難しい面があった。この3年間の経過を踏まえ活動テーマを明確にして、採用される方のイメージがわくようにしている。また、1泊2日の体験も行っている。今年はネットでつないで相談に応じている。

佐藤洋子委員：市民憲章推進事業について、全国大会を開催するなど活発であるが、成果「C」となっている理由は？

高橋誠課長補佐：事務事業評価シートの成果指標で参加者数の目標が220人に対し、実績は180人のため、目標値より低いことから「C」となります。

中村光一地域づくり課長：会員数が増えてほしいところだが、なかなか増えていない。

福盛田弘委員：全国大会を今年も開催しており、10年以内に2回以上、開催しているところはないが、花巻は開催している。理由があるのか？

中村光一地域づくり課長：全国大会となると、ある程度、資金面のことがある。立候補するところが少ないのが現状である。2年前から準備、やりたいということで（市民憲章推進協議会の）総会に諮って、市長に補助を依頼し、花巻市の市民憲章を盛り上げたいということから開催した。

福盛田弘委員：他の市町村で行わないのは、魅力がないからか？

中村光一地域づくり課長：システム自体が異なる。市の憲章であるので市で行っているが、他では市から切り離して、自分たちで行っているところもあり、大会までできないという事情もある。

堀籠義裕委員：「前年度の評価の振り返り」で「振興センターの利用人数を増やすためにも、人口減少に歯止めをかけることは不可欠であり」とあるが、そういう目的で人口減少対策に取り組んでいるのか疑問である。方向性の立て方に無理がある。毎年評価していくという点で、反映状況に書くことができるような単年度で解決できる中身を書くべきと思う。

また、事業が多数あるが、施策を2つに、つまりNO9までとNO10からに分けることができる。後段のほうは総合戦略ともかぶってくると思うが、「6施策の総合的な評価」の「今後の方向性」で、NO9までの前段に当たる分には「公共施設管理計画との整合性を図りながら」と記載があるが、NO10からの後段に当たる部分には総合戦略との連動、役割分担などが無いようだが、総合戦略との関係は、どのように考えているのか？

藤井保宏定住推進課長：定住事業については戦略事業から派生した事業がほとんどです。その整理については、分からないところがある。

高橋誠課長補佐：総合戦略はどの事業にも該当し、仕事づくり、防災、移住定住でも総合戦略の目的に沿って実施している。むしろ1つ目に「公共施設管理計画」を記載しているのは、今後、市の財政にとって重大な課題になってきているためです。

佐藤洋子委員：振興センターの修繕に多数の事業があるが、ここに記載がないものもあるのか？

中村光一地域づくり課長：それらを含めて公共施設管理計画を定め、限られた市の予算の中で、計画的に修繕していくものです。古くなってきており、雨漏り等はずぐに対応しなければならぬが、細かいものも多数ある。

福盛田弘委員：移住者数が増えているが、ホームページ等のPRの成果なのか？

藤井保宏定住推進課長：なぜ花巻に来たかを聞くため、座談会で聞いたところ、岩手県に来たいという方の中から花巻を選んだという人がいた。職場の関係、交通状況、子育て、病院、買い物等の条件を勘案して選んでいる。成果指標で48人と記載したが、様々な補助事業を使ったのは29件、59人である。うち11人は

以前に何かの助成を受けて2重にカウントするということが48人である。今、多いのはUIJターン就業奨励金を活用した方もいるし、住宅取得や改修の補助を活用した方もいる。これらの補助が一つの後押しになっていると思う。これからの移住者対策としては、受け皿としての地域がどうかや、寒さ、生活状況等をお伝えするというプロモーション活動が必要と考えている。

福盛田弘委員：以前の岩手県の住みたいまちの得票では、幸福度とか、花巻はそれほど高くない。田舎暮らし体験等のテレビ番組があるが、その影響があるのかなと思うが。

藤井保宏定住推進課長：空き家バンクを利用して山の中に住みたい方もいるし、学校に近い所に住みたい方もいる。岩手県の市町村では山の中で自然に恵まれていることを売りにしているところもある。花巻は新幹線駅、飛行場があることを売りにしていることもあり、相手に応じた相談を受けており、宣伝も状況に応じている。補助金・奨励金を受けた方、全員にきちんとなぜ来ましたかという細かいところまで聞いていないところもあるので、課題とさせていただきます。

堀籠義裕委員：「5施策を構成する事務事業の検証」「新たに取り組む事業はないか」に「老朽化が進んだ振興センターの改修」とあるが、「4施策を構成する事務事業一覧」の4番「振興センター等整備事業」と同じことを書いているように思えるが、別な中身なのか？

中村光一地域づくり課長：それが公共施設管理計画に基づくもので、(一覧に記載した事業は)今までの修繕で、(新たに取り組むべき事業は)長寿命化、大規模改修の形で行いたいということです。

堀籠義裕委員：この表現では、その内容が分からない。公共施設管理計画に基づいて老朽化が進んだ振興センターの改修を行うということか？

中村光一地域づくり課長：そのとおりです。

堀籠義裕委員：他に無いようですので、それでは質疑を終了とします。

(2) 委員会の評価結果集約【施策評価検証シートの整理】

●「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか

堀籠義裕委員：質疑の中で方向性の立て方に無理があると話したが、意見として入れたいがどうでしょうか？

複数の委員：はい。

堀籠義裕委員：方向性に対する反映状況の書き方について、1つ目「仕組みを構築する」に対して「ファシリテーション研修会を開催した」、2つ目「制度の再構築を図る」に対して「再構築を図るところまでは至らなかった」、3つ目「効果的な周知を行う」に対して「イベント等の周知を12回行った」、4つ目「シテイプロモーションを強化する」に対して「市民ライター養成講座を5回実施

した」とあるが、方向性に対してどのくらい実現に近づいたかが説明不足と
感じる。

久保田廣美委員：回数を書いているだけで、具体的な内容、例えば、何々などの周知を行
ったとか、具体例を入れたほうが良い。

堀籠義裕委員：具体的な例を入れながら方向性の内容の実現に近づいたかを説明してくだ
さい、ということよろしいでしょうか？

複数の委員：よろしいです。

●「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか

久保田廣美委員：事務事業の検証であるに「検証することが必要である」という書き方は
おかしい。「把握しながら進めていくことが必要」という前向きな記述にすべ
きでは。

堀籠義裕委員：下の「成果の向上を図る事業はないか」で同じようなこと「制度の再構築
をすることが必要になっている」と記載しており、2回も触れる必要がある
のかなと思う。この①では、市の関与の必要性が低下したかをこれから検証
しますという話であって、低下した事実を実際に把握した段階に至ってい
ない。このため、この段階ならここに書かないほうが良い。「さらに成果の
向上を図る事業」に残したほうが良いように思える。いかがでしょうか？

久保田廣美委員：再検証ではないでしょうから。

堀籠義裕委員：①の方を削除します。また、質疑の最後で確認した、「新たに取り組むべ
き事業」で公共施設管理計画との整合性を踏まえたものであることを記述
してください、ということよろしいでしょうか？

複数の委員：はい。

●「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われて
いるか

堀籠義裕委員：質疑の中で振興センターの利用人数について質問がありました。施設の休
館が背景要因に書かれていないことと、減少の原因をもう少し記載があっ
てもよいのでは、2つがありました。

福盛田弘委員：利用者数が減っていることを、天候やひな祭りで説明しているが、それ以
前から減少しているので、その辺も分析する必要がある。

久保田廣美委員：2コミュニティは増えているので、全部減っているのではない。他の減
少要因を記載したほうが良いと思う。

堀籠義裕委員：増加、減少のところがあるけれども、背景、特に減少しているところを具
体的に記載すべきということよいか。

福盛田弘委員：利用者が増やしたいといっている割には、何も策がないように感じるの
で、どういう理由か分析してもよいのでは。

久保田廣美委員：入場者と本当に利用した人とのかい離があるのでは。ひな祭りを見に行
っている人が利用者なのか。

福盛田弘委員：地域での利用者なのか、部外者が来ているのか。ひな祭りを見に来ている

多くの人は他から来ている。

●「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか

堀籠義裕委員：振興センターの利用人数の減少が成果指標では書かれている。しかし、「現状と課題」で利用人数減少が記載されていないことが、不自然な感じがする。達成度 C であるので記載したほうが良いと思う。

また、私が個人的に分からなかったのは、今後の方向性の2つ目の「総合的に考え、その結果に基づいて行う」が具体的によく分からない。他の人が見てわかるように書く必要があると思う。

久保田廣美委員：テーマ以前に必要性を誰が判断するのか？

八重樫雅喜課長補佐：流れとしては、庁内全課に地域おこし協力隊に協力をいただく事業の有無を照会し、それをもとに活動テーマを設ける。そのテーマに募集があった場合、具体的にどこに在籍するか、任期後どうするか等を検討する。市長は、任期後に生活できないでは、その方に迷惑がかかるだけであり、定住し生活できるように組み立ててから募集しなさいと考えている。テーマを市長と協議し、生活できるかといことを議論している。以上のことを記載すると長くなるので、記載のとおりになっているが、説明しないと分からないのでは資料として良くないかもしれない。

堀籠義裕委員：任期が終わった後も花巻に残って活躍してもらえるような募集の仕方ということか。

八重樫雅喜課長補佐：そのとおりです。

堀籠義裕委員：それを書くと長くなる。強いて直さなくてもよいような気もするし、例えば、地域おこし協力隊は活動テーマ、受け入れ体制、任期後の定住などを考慮して新規隊員募集を行うとか、が考えられる。それを部会の意見とするかどうか。私個人的には、あえて指摘しなくてもよいかと思うが、いかがでしょうか？

それでは、振興センターの利用に関することを意見とします。

●「シート記載内容全般について」

堀籠義裕委員：一番初めに、方向性の立て方や、前年度の反映状況の記載の仕方を部会の意見としていますが、もう一度ここに記載することができると思います。

他にありますか？

なければ、私のほうで清書して原案としますがよろしいでしょうか？

複数の委員：はい。